

- ・平成30年3月8日の夜から9日にかけての前線を伴った低気圧による大雨で、釧路川流域の雨量観測所の24時間の降水量は、3月としては統計開始以降で最も多い記録となりました。
- ・北海道標茶町では、釧路川の増水に伴う流入支川の氾濫や、避難経路の凍結に伴う避難の困難さを考慮し、早め早めの判断が必要な状況でした。
- 標茶町は、昨年6月に実施した釧路川総合水防演習を通じた住民を対象とした訓練の実施、水害対応タイムライン検討による事前の行動計画の準備、洪水ハザードマップの作成、町長と河川事務所長の水位情報予測等のホットラインを行い、迅速な避難行動に繋がりました。

釧路川総合水防演習の実施

◇各防災機関及び地域住民等の参加を得て標茶町等において「平成29年度釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練」を実施。
◇標茶町釧路川河川敷では、避難勧告等の発令に着目し、住民を対象とした避難訓練や町長と河川事務所長による訓練を実施。



住民を対象とした洪水避難訓練の実施



標茶町長

ホットライン



河川事務所長

標茶地区水害タイムライン検討会

◇釧路川で水害発生の恐れがある際に早い段階から関係機関が連携して地域住民および防災対応者の安全確保を図るための防災行動計画作成に向けた取組を推進（H29.12～）



（参加機関）

標茶町教育委員会、標茶消防署、標茶消防団、
標茶町土木建設業協会、標茶町自治会連合会、
弟子屈警察署、陸上自衛隊釧路駐屯地、釧路総合振興局
弟子屈町、標茶町、釧路地方気象台、釧路開発建設部
標茶町町内会

洪水ハザードマップ

◇標茶町では、想定し得る最大規模の降雨に対する浸水想定区域に基づき、洪水ハザードマップを作成。

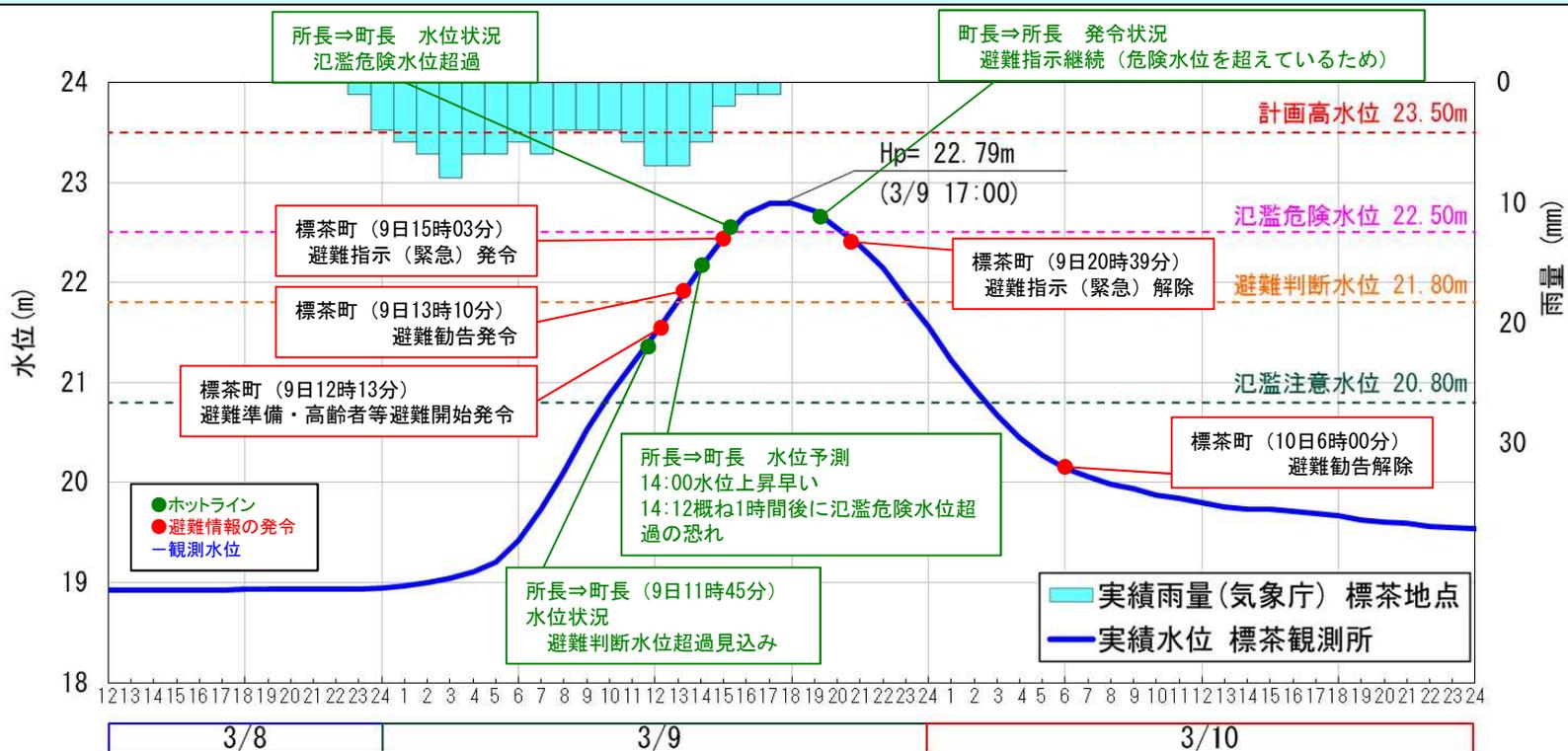
◇ハザードマップは、平成30年2月に住民へ周知。



町で初めて「避難指示」発令～タイムライン等の取組で迅速な避難②

釧路川外
減災対策協議会

○釧路川総合水防演習を通じた住民を対象とした訓練の実施、水害対応タイムライン検討による事前の行動計画の準備、町長と河川事務所長の水位情報予測等のホットラインを行い、**迅速な避難行動に繋がりました。**



発令等の状況・避難所の様子



路面の凍結と、市街地の浸水状況



道内初の緊急避難速報



避難所の様子（対象1,270世帯、2,640人）



報道（釧路新聞）

標茶で避難指示2640人